

くらいふ通信 **ビジネス版**

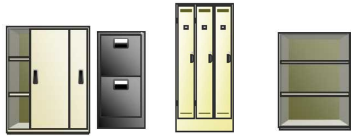
Vol. 4 リユース

リユースできるオフィス製品(例)

オフィス家具



デスク 椅子 ソファ



キャビネット ロッカー 書棚

OA機器



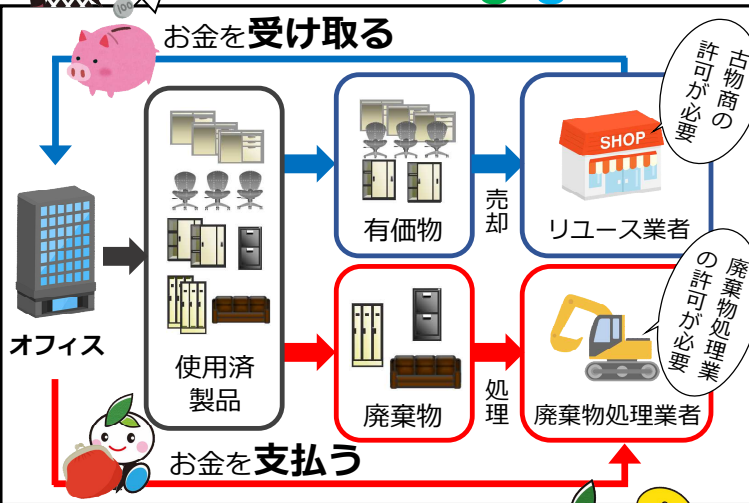
電話 PC 複合機

家電製品



電子レンジ ポット 冷蔵庫

リユースの流れ



リユースと不用品回収業者

リユースは、3R（リデュース・リユース・リサイクル）のうち、リデュースと同様に優先度が高く、環境に良い取り組みです。リユースの大きなメリットのひとつは、コスト削減です。例えば、まだ使用可能な製品を売却することで、廃棄物処理費を削減し、売却収入が得られます。また、リユース品を購入すると、新品調達よりもコストを削減できます。

使用済み製品を引き渡す場合の注意点として、違法な不用品回収業者に引き渡すと、法令で厳しい罰則が科される場合があります。許可を有する事業者か、事前に確認しておきましょう。

適正なリユース業者の探し方

リユース業を行うためには古物商の許可が、廃棄物を運搬・処分するためには、廃棄物処理業の許可が必要です。普段、付き合いのある業者に引き渡す場合は、これらの許可を有しているか確認しましょう！新たに探す場合は、以下の業界団体のHPが参考になります。

日本リユース機構(JRO)

全国の中規模のリユース・リサイクルショップで形成される業界団体



日本リユース業協会(JRAA)

大手リユース業者で構成される業界団体

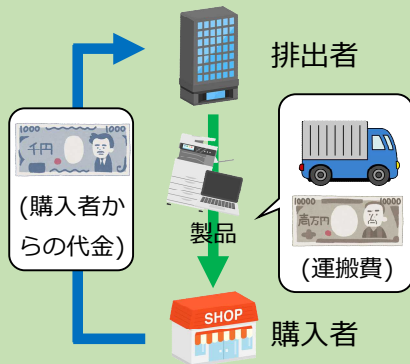


ジャパン・リサイクル・アソシエーション(JRCA)

全国の中規模のリユース業者で構成される業界団体



逆有償 ⇒ 廃棄物扱いかも？



逆有償の場合、製品の引き渡しは廃棄物処理委託に当たる可能性があります。廃棄物は、廃棄物処理業の許可業者にしか引き渡しできません！



今日の豆知識

『逆有償』

製品そのものの価値はプラス（有価物）でも、運搬を依頼すると、運搬費で手元マイナスになることがあります。これを逆有償といいます。